

仙台地域の農業農村情報を発信するブログ「なおこが行く」の更新を再開しました！

【農業農村整備部】

農業農村整備部では、仙台地域の農業農村整備事業や県内の農業・農村に関する情報をわかりやすく発信するため、平成 21 年度からブログ「なおこが行く」を更新して来ましたが、平成 24 年度から諸事情ありましてしばらく休止していたこのブログですが、本年 5 月 16 日より更新を再開し 10 日に 1 回程度のペースで、定期的な情報発信を行っております。

「なおこが行く」では、現在仙台地方振興事務所で行っている農業農村整備事業の状況や、一般的にはなじみの薄い専門用語の解説などを掲載し、県の事業を県民のみなさまにわかりやすく発信できるよう努めています。最近では「県営かんがい排水事業ってなあに？（6 月 20 日）」、「寒風沢（さぶさわ）島のメダカ（6 月 9 日）」などの記事を掲載しています。



「なおこが行く」で検索！

現在、県が行う事業は東日本大震災関連の復旧・復興事業が中心となっておりますが、「なおこが行く」では復旧・復興事業に限定せず、農業・農村に関する情報を様々な角度でわかりやすく発信していきたいと考えておりますので、ぜひブログをチェックしてみてください。

「なおこが行く」URL

<http://sendainn.blog37.fc2.com/>

「なとり・ぐるっと親子講座」フラワーアレンジメント体験が開催されました

【農業振興部：巨理農業改良普及センター】

5 月 31 日、6 月 7 日の両日、名取市役所を会場に「なとり・ぐるっと親子講座」フラワーアレンジメント体験が開催されました。

「なとり・ぐるっと親子講座」は、名取市の農業生産者団体、農産加工グループ、農業関連機関で構成する「名取市地域農産物等消費拡大推進協議会」の主催により、名取市内の小学生の親子を対象に、農業体験などを通じて市内の農産物への理解を深めてもらうために開催している講座です。講座は田植え体験から始まり、フラワーアレンジメント体験、野菜収穫体験など年 5 回の開催を予定しています。

今回のフラワーアレンジメント体験では、東日本大震災による甚大な被害から復興し、営農を再開した名取市花卉(かき)生産組合が講師を務め、同組合が生産したカーネーションとバラがアレンジメントの素材として使用されました。講座には市内の親子 17 組、約 40 名が参加し、花の香りに囲まれたなごやかな雰囲気の中で、参加者それぞれの感性を活かした素晴らしい作品ができ上がり、名取の花の魅力について理解が深まるとともに、親子で楽しめた講座となりました。



フラワーアレンジメント体験の様子

仙台地域の農業復興への新たな光に！ブランドミニトマト「アンジェレ」栽培への挑戦

【農業振興部：仙台農業改良普及センター】

仙台農業改良普及センターでは昨年度より、仙台東部の津波被災地域を中心に今後の農業を担う経営組織を対象として、集合研修「仙台農業復興塾」の開催など経営方針や経営計画の策定支援を行っています。こうした支援を受け、農事組合法人井土(いど)生産組合と荒浜集落営農組合の2つの組織では、経営の多角化を目指し今年度新たにミニトマトの施設栽培に取り組みます。

今回導入する品目は、JA全農がブランド化を進めている新品種「アンジェレ」というミニトマトです。この「アンジェレ」は、普通のミニトマトよりも糖度が高い上に酸味とのバランスも良好で、プラム型で肉厚の果実は「スナック感覚のミニトマト」として子供たちからも好評を得ており、現在注目度ナンバーワンのミニトマトです。

栽培には、塩害を受けた畑でも栽培できる「トロ箱養液栽培システム」という、土を入れた発砲スチロールの中にトマトを植え自動で肥料分の入った水を与える栽培技術を導入し、高品質で安定した生産出荷を目指しています。栽培に挑む2つの組織の生産者は、事前に先進地視察研修会に参加するなど、栽培ノウハウを学び準備を進めてきました。そしていよいよ、6月11日から約20アールのパイプハウスにミニトマト苗の定植が行われ、今シーズンの栽培がスタートしました。

来月には待望の収穫が始まり、JA全農を通じて首都圏の消費者へ販売される予定となっており、仙台地域の農業復興の一助となるよう、生産者の期待も高まっています。



ミニトマト「アンジェレ」
定植作業の様子

仙山交流味祭に「宮城の海苔 味くらべ」ブースを出展しました

【水産漁港部】



大盛況の「宮城の海苔 味くらべ」ブース

食卓に欠かせない「海苔(のり)」ですが、仙台湾が全国有数の養殖海苔の産地であり、いくつもの浜で、それぞれ異なる漁場環境を利用して独特の海苔をつくっていることはあまり知られていません。

そんな宮城の海苔のおいしさや産地による味の違いを知っていただくため、6月4日～5日の2日間仙台市勾当台公園で開催した仙山交流味祭において、県内の生産地から7つの浜の自信作の海苔を一堂に集め、来場者に味くらべをしていただけるブースを出展しました。

両日とも多くのお客様にご来店いただき、様々な風味、食感の海苔が並ぶ中、やはり好みは人それぞれでしたが、「あ、違う」と、浜ごとの味の違いを感じていただけた様子でした。

味くらべコーナーの隣では、海苔養殖漁師さんが手がける海苔製品の直接販売も行いました。焼き海苔、味付け海苔など、各浜から10組の生産者の31種類の製品が売り場を賑わし、大盛況のうちに売り切れ続出となりました。売る側の漁師さんも、お客様の生の声に触れ、今後手応えを感じていたようです。

仙台湾一帯の海岸林は、約 400 年前に仙台湾主「伊達政宗公」によって植栽されたのが始まりとされています。以来、地域住民をはじめとする多くの人々の努力によって守り造られ、延べ 1,000 ヘクタールを超える松を主体とする海岸林へ成長してきました。この間、潮害・飛砂・風害から農地や人家を守る防災機能を発揮し、白砂青松の美しい景観を形成してきましたが、東日本大震災による大津波の際、津波エネルギーの減衰や漂流物をせき止めるなどの効果を発揮しながらも、そのほとんどは流出・倒伏など甚大な被害を受けました。しかし今、大切な役割を持つ海岸林は、表のとおり、各地で参加型植樹による復旧が進められています。

表：平成26年度春 主な海岸防災林植樹活動

開催年月日	イベント等名称、植樹内容	参加者数	開催地	主催者など
平成26年4月19日	仙台湾沿岸地区 海岸防災林の再生植樹 クロマツ 850本	62	名取市下増田	宮城県林業研究会連絡協議会 (公社)宮城県緑化推進委員会
平成26年 5月4日, 11日, 25日	名取・潮除須賀松「再生植樹式」 クロマツ 1,000本	244	名取市下増田	ゆりりん愛護会 (公社)宮城県緑化推進委員会
平成26年5月22日	「国際生物多様性の日」・グリーンウェイブ2014 「プロ野球の森in宮城・名取」記念植樹祭 クロマツ, コナラ 1,000本	61	名取市下増田	(公社)国土緑化推進機構 (公社)宮城県緑化推進委員会 (一社)日本プロ野球機構
平成26年5月24日	東日本大震災復興海岸林再生プロジェクト クロマツ 4, 000本	350	名取市下増田	名取市海岸林再生の会 (公財) オイスカ
平成26年5月25日	強く、豊かに～海岸防災林再生植樹式 クロマツ, ケヤキ, コナラなど	100	岩沼市寺島地区	林野庁, 宮城県, 岩沼市 (公社)国土緑化推進機構 (公社)宮城県緑化推進委員会
平成26年5月25日	わたりグリーンベルトプロジェクト第1回植樹祭 クロマツ, コナラ, サクラ 350本	66	亘理町	わたりグリーンベルトプロジェクト
平成26年5月31日	第2回千年希望の丘植樹祭2014 タブノキ, シノキ, シラカシなど 70,000本	6,000	岩沼市相野釜地区	岩沼市



「大きくなあれ」

(名取・潮除須賀松 再生植樹式 5月11日, 25日)

こうした植樹活動のひとつとして、5月4日, 11日, 25日の3回にわたり「ゆりりん愛護会」, 「宮城県緑化推進委員会」が実施した「名取・潮除須賀松(しおよけすかまつ※)再生植樹式」では、地域住民を中心とする延べ250名の参加者によって、1,000本のクロマツ植樹が行われました。

国や県が進める海岸部の復旧工事とともに、このような老若男女、県内外を問わず、いち早い震災からの復興を望む人々の力によって、仙台湾一帯の海岸防災林復旧が着実に進められています。

※「潮害から守る砂浜にある松」の意味。西暦1600年に、伊達政宗が家来に石巻から山元までの海岸に潮除須賀松林の造成を命じた旨の記述が伊達藩の資料に残されています。



「柴田農林高校生も参加」(4月19日:名取市)



仙台・松島エリア 集合写真

6月19日～20日の2日間、JR仙台駅を会場に、仙台地域14市町村と山形県天童市で「『仙台・松島エリア』夏のとっておき！お届けキャラバン」を開催しました。

仙台・宮城では、東日本大震災の翌年の平成24年から、今年の「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン2014」まで3年連続で春(4～6月)の観光キャンペーンを開催してきました。

本キャラバンでは、キャンペーンを通じて全国からたくさんのお客様に春の仙台・松島エリアにお越しいただいたことへの感謝をこめて、さらにキャンペーン終了後の夏も観光を楽しんでいただけるように、特産のお菓子などのプレゼントを配布するとともに、仙台・松島エリアの夏のとっておきの観光情報をPRしました。

PRは仙台市・黒川地域・名亍(めいこう)地域・松島湾地域・山形県天童市の5グループに分かれ、ご当地キャラクターも集合して、夏ならではのイベントやグルメを紹介しました。20日の松島湾地域のPRには東松島市も参加し、圏域を越えて一緒にPRを行いました。

今年の観光キャンペーンは6月30日で終了しましたが、仙台・松島エリアにはこれからの季節ならではの楽しみがたくさんありますので、ぜひ仙台・松島エリアの夏の旅もお楽しみください。



ご当地キャラクターも登場

仙台地域 おすすめイベント情報

■第67回塩竈みなと祭■

日時：7月21日(月) 午前9時45分～午後7時

場所：塩竈市塩釜港付近

内容：日本三大船祭に数えられる塩竈市の一大イベント。志波彦神社と鹽竈神社のおみこしを奉安した色鮮やかな御座船「龍鳳丸」・「鳳凰丸」が約100隻もの大漁旗を掲げた供奉船(ぐぶせん)を従えて松島湾内を巡るイベント「神輿海上渡御」(みこしかいじょうとぎよ)は必見です。

20日(日)の前夜祭には、午後8時より約4,000発の花火が打ち上げられます。

☎塩竈市観光交流課 Tel：022-364-1165

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！
問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所(担当：渡邊、山本)
TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 (E-Mail) sdsinbk2@pref.miyagi.jp
(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>
※次号は8月下旬発行予定です。